

「この本、よかった！」(121)
『ぎょうれつのできるケーキ
やさん』

作者 ふくざわ ゆみこ
(株式会社 教育画劇)



皆さんにもおすすめしたい「くまどく本」。
今月は、くまの中央保育園からです。

佐藤 花帆(すみれ組)

ありがケーキをつくるのがたのしそうです。あなぐまさんがすごくやさしいです。わたしはカスタードプリンがつくってみたいです。みんなにもこのほんをよんでほしいな。

佐藤 舞(母)

「ケーキ屋さんになりたい」と言ったのをきっかけに、この本を選びました。アナグマさんやありんこ達が作るケーキを見て、「今度、このケーキ作ろうね」と話しながら読んでいます。

(教育総務課社会教育グループ)

生活目標を達成してより良い学校に！

熊野第一小学校

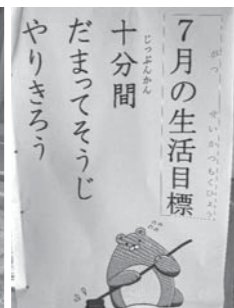
一小では、学校で大切にしたいことを毎月の生活目標として定めています。その目標を意識しながら生活することで、全員でより良い学校を目指しています。

7月の生活目標は『十分間 だまってそうじやりきろう』という目標でした。時間いっぱい無言掃除をやりきろうという目標です。無言で掃除をすることで、いつもより集中して掃除に取り組むことができました。隅々まで意識が行き渡り、学校中がきれいになり、学校のみなが気持ちよく生活することができました。

目標を達成するために、互いに声を掛け合ったり、委員会の高学年の児童が協力したりして、毎月の目標を達成することができています。これからも学校全体でより良い学校にするために、目標を意識して生活ができる取組を行っています。



▲無言で掃除をやりきりました



(教育総務課)

熊野町「防災の日」を迎えて

熊野中学校

豪雨災害から5年を迎えた今年は節目の年です。7月6日(木)は一日を通して、5年前の出来事に思いを馳せ過ごし、放課後に8月14日(月)に行われた町民夏祭りについて学びました。校長先生から、今年行われる町民夏祭りの意義や盆踊りについてのお話がありました。町においても、人々が豪雨による被災から立ち上がり、復興を成し遂げてきました。町民夏祭りには、この復興のよろこびと更なる発展を目指していこうという思いが込められています。また、盆踊りには、やぐらにあかりを灯し人々が賑わいながら踊ることで、亡くなられた御霊がお盆に迷わず返って来ることができるように、という思いが込められていることを知ることができました。続いて、女性会の皆さんから盆踊り「熊野音頭」「筆踊り」「炭鉦節」の踊り方を教えていただきました。犠牲になられた人々のこと偲びつつも前を向き熊野を盛り上げようと、みんなで踊りました。



▲女性会の皆さんに倣って、みんなで踊りました

(教育総務課)

【国際ソロプチミスト熊野】

～第15回 チャリティコンサート
『広島ジュニアマリンバアンサンブル』～

広島ジュニアマリンバアンサンブルは、海外での演奏交流や国内の数多くのコンサートなどで活躍しています。世界中の平和を願って元気いっぱいの演奏を聴きましょう。収益金は町内と世界中の女性と女兒の生活向上のために寄附されます。

日時10月22日(日)

開場13:00 開演13:30

所町民会館 ふでりんホール

¥大人1,000円 小中高生500円 (全席自由)

※チケット販売中

☎国際ソロプチミスト熊野事務局

☎854-4785

(教育総務課社会教育グループ)

「熊野高校野球部物語」

～第105回全国高校野球選手権記念
広島大会開会式選手宣誓～

熊野高等学校

この地に(328)

熊高野球部キャプテン、3年生の村山元規選手が3年間の思いを込めた選手宣誓を見事に務めました。新聞やテレビでも取り上げられたのでご存じの人もおられると思います。

村山君が中学1年の時、本町は未曾有の災害に見舞われました。当時の熊高野球部が率先して復旧作業に参加し地域に貢献する姿を見て、ぜひ熊高で野球をしたいと思ったそうです。ところがいざ入学してみると新入部員は村山君1人だけ。やめようと思ったことも一度や二度ではなかったそうです。しかし、彼を支える先輩やマネージャー、そして2人だけの朝練を通して絆を深めた岡田監督の熱い思いに応える選手に成長しました。中学校に積極的に勧誘に行った甲斐もあり、多数の部員が入部。今大会は熊高単独での出場を果たしました。下級生の部員は「元さん(村山君)のために」を合言葉にチーム一丸となって夏の大会に臨みました。



▲開会式で堂々と行進する熊高ナイン

☎熊野高等学校 ☎854-4155

人権とわたし

高齢者の人権

高齢者になっても、「社会に貢献したい」「地域の人たちと交流し、生活や趣味を楽しみたい」と思うことは、多くの人の共通の願いです。その一方で、養護者や家族などからの身体的・心理的・経済的虐待といった高齢者の人権に関わる問題が生じています。高齢者が、安心して生活できる環境づくりが必要です。

○高齢者虐待の防止

介護に悩んだときは、一人で抱え込まず相談しましょう。些細なことも、相談することで虐待防止の第一歩となります。虐待を疑う場合は、まずは市町または地域包括支援センターに連絡してください。

○詐欺被害の防止

高齢者を狙った詐欺は多くの場合、自宅へ詐欺の電話がかかってくる。番号が表示されない電話を着信拒否したり、自宅にいるときも留守番電話にして相手を確認して折り返すなどの対策を取りましょう。

町では特殊詐欺などの被害を防ぐための機器の購入に要する経費の一部を補助しています。詳細は生活環境課までお問い合わせください。

○定期購入契約に注意

定期購入に関する相談が増加しています。「初回500円」など安価を謳っていても、購入回数縛りがあり、2回目からは通常価格で販売することがほとんどです。購入前に必ず契約内容を確認しましょう。

【日々の暮らしに必要なお金の管理についての相談】

広島県社会福祉協議会 あんしんサポートセンター「かけはし」
☎月～金 8:30～17:00 (祝日・年末年始を除く)
☎254-2300

【悪質商法など消費者トラブルについての相談】

消費者ホットライン ☎188 (いやや)
熊野町消費生活相談窓口 ☎820-5636

(生活環境課)